

## 『新潟市医療計画』（平成26～32年度）の進捗状況について

## 精神疾患分野の計画後期（平成30～32年度）の方策の進捗状況

分野	主な課題	計画後期の方策	実施した主な取組（令和元年度）	今後の取組内容（令和2年度）	進捗状況
精神疾患		①精神障がい者の地域生活を支える体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○措置入院患者等の退院後支援の実施</li> <li>○地域移行・地域定着支援研修会の実施</li> <li>○社会復帰見学ツアーの実施</li> <li>○ピアサポーターによる普及啓発活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アウトリーチ事業の実施を検討する。</li> <li>○精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業における、保健・医療・福祉関係者による協議の場を拡充する。</li> </ul>	A (予定どおりである)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムに基づく支援に取り組む必要がある。</li> <li>○円滑な精神科救急受診体制を確保する必要がある。</li> <li>○救急医療や身体合併症における一般医療機関と精神科医療機関との連携を強化する必要がある。（※）</li> <li>○かかりつけ医と専門医療機関、介護関係機関との連携による認知症の早期診断・早期対応の強化が必要である。</li> </ul>	②一般医療機関と精神科医療機関との情報交換による相互理解促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○精神科救急医療システムの運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県・新潟市精神科救急医療システム連絡調整委員会の開催</li> <li>・新潟県精神科救急情報センター等業務検討会の開催</li> </ul> </li> <li>○地域医療連携強化事業（一般科と精神科医療機関の情報交換）の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム「症例から学ぶ地域で精神患者を支えるために我々ができること」の開催</li> <li>・意見交換会「（仮）西区における精神科と一般科の連携を考える」をR1年度中に開催予定</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○精神科救急医療システムを運営する。</li> <li>○一般科医療機関と精神科医療機関が情報交換する機会を設けることを継続する。</li> </ul>	A (予定どおりである)
		③認知症の医療体制，医療と介護の連携体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症の医療体制，医療と介護の連携体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援チームの情報交換会の開催</li> <li>・認知症サポート医の養成および情報交換会の開催</li> <li>・かかりつけ医認知症対応力向上研修の実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症初期集中支援チームや認知症サポート医の活動の充実を図る。</li> <li>○かかりつけ医認知症対応力向上研修の受講者の増加を図る。</li> </ul>	A (予定どおりである)

※ 新潟市医療計画四分野（救急医療、精神疾患、在宅医療、災害医療）における共通課題。

進捗状況＝計画後期の方策を実現するための取組みの進捗状況を4段階で評価  
 S…取組みが予定以上である  
 A…取組みが予定どおりである  
 B…取組みがやや遅れている  
 C…取組みがだいぶ遅れている

# “地域医療連携強化事業” について

⇒①・②による共催

- ① 新潟市（保健衛生部地域医療推進課、こころの健康センター）
- ② 新潟市在宅医療・介護連携センター（新潟市医師会）

## 事業実施に至る経緯

医療計画における共通課題及び計画後期の方策として「一般医療機関と精神科医療機関との情報交換による相互理解の促進」が打ち出された。

このことから、新潟市在宅医療・介護連携センターへの委託事業のうち“地域医療連携強化事業”として、市も共催する形で事業実施することとなった。

## 1. 『症例から学ぶ 地域で精神患者を支えるために我々ができること』を開催。

開催形式：シンポジウム形式

開催日時：令和1年11月21日 木曜日 19時～

開催場所：東区プラザ ホール

内 容：（1）話題提供

「精神科受診歴のあるAさんの高熱が下がらない！」

～地域包括支援センターケースを通して、精神科と一般科の連携を考える～

話題提供者：櫻井 馨（主任介護支援専門員・地域包括支援C石山）

（2）シンポジウム

コーディネーター 森田幸太郎（医師・桑名病院 脳神経外科部長）

福島 昇（医師・新潟市こころの健康センター所長）

シンポジスト 若穂 徹（医師・河渡病院 病院長）

山口 正康（医師・山口クリニック 院長）

櫻井 馨（主任介護支援専門員・地域包括支援C石山）

対象機関：病院・診療所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、  
居宅介護支援事業所、障がい者基幹相談支援センター、行政機関 など

⇒ 参加者数：182人

## 2. 『(仮) 西区における精神科と一般科の連携を考える』を開催予定。

⇒ 西区は、北区や東区と比較すると医療機関間の連携やネットワークの実態が把握できていないため、まずは現状を確認し、区内における精神科と一般科の病病連携・病診連携を推進するため意見交換会を開催する。

開催形式：会議形式

開催日時：令和2年2月以降

開催場所：西区内のいずれかの病院

内 容：話題提供や意見交換

テーマ例「合併症患者の受療の現状と課題について」

対象機関：西区内の9病院及び精神科クリニック等の

医師（院長 or 副院長クラス）、看護師、MSW、PSW 等